

## 全国に誇れる「教育都市かさい」の実現を目指します

西村和平市長と教育委員会の高橋晴彦教育長、教育委員4人で構成する「第1回加西市総合教育会議」を7月28日、市役所で開催しました。

今回は、平成27年度教育施策の大綱などの審議の他、現状の教育課題についての意見交換が行われました。

今後、市長と教育委員会が連携を深めることにより、市民すべてがかかわる質の高い教育を推進します。

### ■総合教育会議で協議及び調整を行う項目

- ・教育に関する大綱の策定
- ・教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- ・児童や生徒などの生命または身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

### ■教育施策の大綱の重点目標

- ①人間形成の基礎をはぐくむ就学前教育の充実
- ②生きる力を培い創造性を伸ばす教育への取組
- ③命や人権を大切に作る心の育成、青少年健全育成の推進
- ④子どもたちが安心して学べる学校園の整備、保護者や地域から信頼される学校づくりの推進
- ⑤家庭・地域・学校園が一体となった教育の推進
- ⑥市民だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりの推進
- ⑦教育予算の拡充及び教育委員会機能の充実



## 下江さんが東京で加西市の魅力を発信

大阪市から移住し、地域活性化に取り組む「地域おこし協力隊」の下江一将さんが7月30日、東京都の移住・交流ガーデンで行われた「マチホメ」（主催：加西市、共催：総務省）で、都市部の参加者約30人に「加西市には地域を良くしようと、熱心に活動されている方がたくさんおられる。そういった方々が“つながり”を持つことで、さらに地域が豊かになる可能性が広がる」など、移住してから感じたことを話しました。

マチホメとは、都市部の人たちが、ヨソモノ視点を生かし加西市の人の魅力を発掘しながら加西市への想いを育てていく期間限定のスクール型コミュニティです。

今後、下江さんらが参加者と協力して、まちの隠れたスター（人）をマップ化し、加西市の人を発信していきます。



マチホメで加西市のことについて話す下江さん



地域の祭りでダンスを踊る下江さん（右）

### ■下江さんの活動

まちづくりに関する会議や市内のイベント・ボランティア活動に参加しています。多くの方と知り合うと同時に加西市が抱える住民目線の課題を聞いて回りました。

そこで感じたことを踏まえて現在は、大阪のNPO法人と協力し耕作放棄地の利活用プロジェクト、若者が集うシェアオフィスの運営、田舎暮らし体験の実施、YouTuberを誘致し加西市の魅力を発信する動画作成などを行っています。

今後も、「市外から若者が足を踏み入れる入口作り」「若者起業家の誘致」「地域課題への担い手発掘・育成」「新たな雇用の創出」に力を入れて取り組んでいきます。

## 国勢調査にご協力を

国勢調査は、日本の未来を考えるため、最新の人口・世帯の状態を調査します。

今回の調査より、調査票での回答方法に加え、パソコンやスマートフォンなどから手軽に回答することもできます。調査員が各家庭を訪問しますので、ご協力をお願いします。

### ■調査・訪問スケジュール

○調査員がオンライン回答に必要なチラシをすべての家庭に配布します（9月10日から12日頃）。

パソコンやスマートフォンでの回答期間／9月10日（木）～20日（日）

○オンライン回答が無かった家庭へ調査員が訪問し、調査票を配布します（9月26日から30日頃）。

調査票での回答期間／9月26日（土）～10月7日（水）

## 自殺予防週間（9月10日から16日まで）

最近ストレスが多いと感じていませんか。心の健康づくりには、ストレスへの対処が欠かせません。次のことに心がけ、ストレスに負けない自分を作りましょう。

- **休養**／仕事や家事の緊張をやわらげるためしっかり休養をとしましょう。
- **睡眠**／快適な睡眠を得るため、まずは早寝早起きを心がけ規則正しい生活をしましょう。
- **運動**／ウォーキングなど適度な有酸素運動を心がけましょう。
- **食事**／偏食にならないように注意しましょう。特に、ビタミン・ミネラル類、脂肪酸類（青魚など）、アミノ酸類（バナナ、納豆など）は、神経細胞や神経伝達物質の材料となります。



「こころの体温計」(市ホームページ)で、心の健康状態を確認することができますので、ご活用ください。

### ～ひとりで悩まず相談してください～

- 県いのちと心のサポートダイヤル ☎ 078-382-3566  
月～金 18:00～翌 8:30 土・日・祝 24時間
- 市こころの健康相談窓口（健康課） ☎④ 8723  
平日 8:30～17:15

## 9月9日は「救急の日」

問合先／北はりま消防組合・加西消防署救急係  
☎④0119

救急業務や救急医療への理解を深めていただくために、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（9月6～12日）を「救急医療週間」と定め、全国的にさまざまな取り組みが実施されています。

### ■加西消防署管内の実施事業

#### ●優良救急隊員表彰

北はりま消防組合消防長表彰／9月9日（水）  
市医師会長・加西消防署長表彰／9月8日（火）

#### ●普通救命講習会／随時開催

●市内巡回、広報誌、ポスター、加西消防署前の電光掲示板等による広報活動

#### ■普通救命講習会「あなたが救命リレーのスタートを」

加西消防署は、毎月第3日曜日（9:00～12:00）に心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法などを学ぶ「ハートtoハート講習会」を開催しています。各種団体については、第3日曜日以外の日でも受け付けています。

### ■AED（自動体外式除細動器）をお貸しします

加西消防署は2台のAEDを貸し出しています。イベント会場にAEDを配置して、参加者や来場者の安全のため、ご利用ください。

貸し出しには、応急手当普及員または普通救命講習修了者が1名以上イベント等に参加することが必要です。

### ■救急車の正しい利用にご協力を

突然の事故や災難に遭遇すると、人は誰でも慌てるものですが、救急車を要請する前に「救急車が本当に必要かどうか」を考えてください。

軽い病気やケガ、タクシー代わりの要請などで救急車が出動中に、1分1秒を争う重症患者が発生した場合、救急車の到着時間が遅れ、悲惨な結果になることも考えられます。

救急車の正しい利用について、ご理解とご協力をお願いします。



### 突然死を防ぐためには

突然死の原因には、大人は主に心臓発作と脳卒中、子どもはケガ・溺水・窒息などの「不慮の事故」があります。症状が出た場合は、突然死の予防をしてください。

**心臓発作**／胸の真ん中の強い痛みや圧迫感、息切れ、冷や汗など

**脳卒中**／体の片側に力が入らない、しびれを感じる、言葉がうまく話せない、物が見えにくい、激しい頭痛など

### ■突然死の予防方法

- 症状が出たら早期に救急車を要請、または医療機関で受診する（早いほど助かる可能性が高くなります）。
- 子どもから目を離さない。

### ■暑い日は熱中症に注意

熱中症で死亡することもあります。こまめな水分補給と室内の適切な温度調整で予防をしてください。